

## 平成29年度組織目標の達成状況(課室目標)

所属名： 循環社会推進課

No.	目標項目	達成時期・目標値・状態	達成状況	成果と課題	今後の対応 (達成状況が△、×の場合)
1	滋賀県災害廃棄物処理計画の策定	○ 災害廃棄物処理の基本的な方針や各主体の役割のほか、平常時や発災後の対策や手順等を定めた計画を平成29年度中に策定。	○	(成果) ○ 災害廃棄物を適正かつ迅速に処理するため、その処理に係る方針・手順等を明確にした県災害廃棄物処理計画を平成29年度中に策定した。 (課題) ○ 本県の災害廃棄物処理体制の強化に向けて、処理主体となる市町による災害廃棄物処理計画策定や仮置場候補地選定を支援するとともに、発災後を想定した訓練等により、対応力の向上を図る必要がある。	
2	PCB廃棄物の期限内の適正な処理の推進	○年度内に民間保有廃棄物の状況を把握する。 ○年度内に予定する県保有廃棄物の処理を完了する。	○	(成果) ○PCB廃棄物等掘り起こし調査として、最新データに基づく新たな対象者への調査および未回答者等への再調査を実施した。 対象:2,923者、回答:1,623者、未回答:760者、未達:540者 (28年からの累計 対象:8,558者、回答:7,258者) ○県保有廃棄物のうち、今年度予定18機関の安定器の処理を完了(計4,145.45kg) (課題) ○未達の調査や未回答事業者への督促等を継続して実施	
3	産業廃棄物の不法投棄等の防止	産業廃棄物の不適正処理事案のうち新規発生件数の年度内解決率(H29年度末)85%以上	○	(成果) ○2月末現在の産業廃棄物の不適正処理事案 新規発生件数: 80件 解決件数 : 66件 解決率:82.5% ○年度内に解決見込みのものを含めると、目標達成の見込み (課題) ○平成28年度後半から建設廃材等を道路脇等に投棄する手口が頻発するなど悪質・巧妙な不法投棄事案が発生している。	

4	旧RD最終処分場問題の着実な解決 (二次対策工事計画に基づき、B工区を中心とした工事や廃棄物処分の着実な実施)	○計画に沿った工事出来形の確保 ○連絡協議会で周辺自治会と意見交換し、理解を得る。 ○周辺自治会との情報共有を図る。	◎	○現行契約額における工事費ベースでの進捗率は、計画78・38%に対し78・65%で、ほぼ計画通り進捗している。(2月末時点) ○側面遮水部において、ボーリング調査の結果、当初想定とは異なる地盤状況がわかったが、連絡協議会での意見交換により理解を求め、対応する工法に変更することとした。 ○今後は、工法変更に即して設計変更、契約変更を行うとともに、さらなる想定外の事態に対しても、早急に対応し、工期の遵守を図る。	
5	旧RD最終処分場問題の着実な解決 (周辺環境影響調査の継続的な実施と迅速な情報公開)	○モニタリング調査を実施し、住民説明および公表の実施。	○	○年4回のモニタリング調査結果は、想定範囲内で推移している。 ○連絡協議会のたびに調査結果を周辺住民に説明するとともに、公表した。	
6	旧RD最終処分場問題の着実な解決 (行政代執行費用の適切な債権管理)	○義務者への納付指導 ○納付命令取消訴訟の勝訴	○	○定期納付および差押定期預金の実行を予定どおり行った。 ○納付命令取消訴訟は、9月に勝訴判決を得た。	

※「達成状況」の欄は、年度末の目標の達成について、  
◎ 目標を超えて達成（100%超）、○ 目標どおり達成（100%）、  
△ 目標の半ば以上の実績（50%以上）、× 目標の半ば以下の実績（50%未満）  
に分類しています。